

# 説明書

## 1. 製品情報

品番	J112
品名	PHA-L4 インゲンマメレクチン-L4
製品形状	凍結乾燥粉末（塩フリー）
保存	Store at 2-8°C

## 2. 規格

凝集活性	> 333 $\mu\text{g protein/mL}$ (ウサギ赤血球(2%v/v))
純度	1 major peak (イオン交換クロマトグラフィー)

## 3. 使用上の注意

レクチンに緩衝液を加え、濃度 1 - 2 mg/mL に調整します。  
強く攪拌すると沈殿が生じますので自然溶解させます。  
使用直前に緩衝液で適当な濃度に希釈してご使用ください。  
溶解後は小分けして -20°C で凍結保存してください。  
凍結融解を繰り返さないでください。

### 注意

- ラベル表示の記載事項を必ずご確認ください。
- 転倒・落下防止策をとったうえで管理して下さい。
- 開封の際は、怪我などにご注意下さい。
- ご使用の際は、試薬に触れることのないようにし、眼鏡・手袋・マスク等を着用下さい。なお、試薬が目や口に入ったり皮膚に付着した場合は、直ちに大量の水で洗い流し、必要があれば医師の診断等を受診して下さい。
- ご使用後の廃棄物に関しては、関連法規等を遵守し、適切に処理して下さい。
- 当社より提供する試薬は研究用ですので、医薬品としてのご使用等その他の目的でのご使用は行わないで下さい。

# データシート

PHA-L4 インゲンマメレクチン L4	
PHA-L4	品番：J112 包装：5mg ・ 製品形状 凍結乾燥品（塩フリー） ・ 保存 4°Cで1年間安定

- 起源 インゲン豆 red kidney bean (*Phaseolus vulgaris*)
- 糖特異性 D-GalNAc<sup>1) 2) 3) 4)</sup>
- マイトージェン活性 あり
- 血液型特異性 非特異
- 構造 分子量 126,000 の糖タンパク質<sup>5) 6)</sup>。インゲン豆には非共有結合したサブユニット (E または L) で構成された 4 量体のレクチン<sup>7) 8) 9) 10)</sup> が 5 種類 (E4、E3L1、E2L2、E1L3、L4) 存在する。PHA-L4 はリンパ球幼若化活性を持つサブユニット L のみで構成された、pI=5.25 のイソレクチンであり、赤血球凝集活性は弱い<sup>11)</sup>。
- 特徴 糖鎖では、 $\beta$ -Man 残基の 6 位側が分岐した 3 本鎖、4 本鎖のアスパラギン型複合型糖鎖に結合する。結合は 0.1 M 四ホウ酸塩で阻害される。癌細胞上の糖鎖と結合する性質を持つことから、癌細胞の選別にも使用される<sup>12)</sup>。

## 文献

- 1) Borberg, H., et al., *Blood*, **31**, 747 (1968)
- 2) Dahlgren, K., et al., *Arch. Biochem. Biophys.*, **137**, 306 (1970)
- 3) Dupuis, G., et al., *FEBS Lett.*, **144**, 29, 32 (1982)
- 4) Serafini-Cessi, F., et al., *Biochem. J.*, **183**, 381 (1979)
- 5) Weber, T. H., Scand., *J. Clin. Lab. Invest.*, **24**, suppl. 111, 1 (1969)
- 6) Räsänen, V., et al., *Eur. J. Biochem.*, **38**, 193 (1973)
- 7) Weber, T. H., et al., *Biochim. Biophys. Acta*, **263**, 94 (1972)
- 8) Miller, J. B., et al., *J. Exp. Med.*, **138**, 939 (1973)
- 9) Yachnin, S., et al., *Immunology*, **22**, 871 (1972)
- 10) Weber, T. H., et al., *J. Clin. Lab. Invest.*, **21**, suppl. 101, 14 (1968)
- 11) Miller, J. B., et al., *Natl. Acad. Sci.*, **72**, 1388 (1975)
- 12) Dennis, J. W., et al., *Science*, **236**, 582 (1987)